

5分で読める!理解する!

あらすじで学ぶ家づくり

家事の省略化で快適な暮らしを

家づくりワンポイント・アドバイス

Q

これからの暮らしをより便利に
変える住宅の工夫ありますか?

A

それなら先進の技術を取り入れた
ハウスメーカーに相談しよう!

今最も進んだ住宅設備や仕様をいち早く住まいに取り入れ、これからの暮らしを便利にするのは大手住宅メーカーの役割です。

話題の!

アイ・オー・ティー

IoT

という言葉
聞いたことがありますか?



「Internet of Things」の略で、あらゆるモノを

インターネットでつないでしまおうという発想

です。これによって「暮らし方」はどのように変わってくるのでしょうか。住宅におけるIoTの活用は、すでに様々な設備や仕様で実用化されています。家にある家電製品とスマホがつながり、運転停止、予約などがスマホで操作できるというものです。

毎日の暮らしのなかでスマホを利用して家電の操作ができ、外出先からの操作も可能になります。「エアコン止め忘れた?」と思ったら、外出先からスマホで確認し、スイッチOFFにすることができます。また、帰宅時には前もって冷暖房をスイッチONにし、家に着いたときには快適な温度になっているということになります。

「IoT住宅」はすでに多くのメーカーで実用化されつつあります。

もちろん暮らしが便利になることは、奥さまの家事の省力化にも直結します。興味のある方は、ぜひ住宅メーカーにお問い合わせください。

奥さま思いの便利で
使いやすい住まいとは

毎日のお料理や洗濯。主婦は日々家事に追われています。共働きの奥さまにとっては家事の省略化は住まいづくりの重要なポイントです。最近の住宅設備はデザイン性に優れているだけでなく、様々な機能で家事を省略化する工夫がなされています。

奥さまにとってこれからの住まいづくりは家事の省略化が重要なポイントになります。具体的には、炊事が楽になる、掃除が楽になる、洗濯が楽になる、戸締まりが楽になるなどが挙げられます。システムキッチンなら大きさや、機能的に充実している事よりも、掃除が簡単な事を優先的に考える事も必要です。また、収納が充実していることも調理の手間が短縮されます。散らかったキッチンでは料理にも手間取るからです。最近多いオープンキッチンなら特に収納計画にも気を配ることが大切です。洗濯では「洗う、干す、片付ける」の動線を考慮

家事の省略化は
間取りでも可能

し、家事室などを設けると楽になります。また、収納量をより多く確保する事も大切ですが、機能性を考えれば「使ったところにしまふ」を重視してリビング・クローゼットやキッチン・収納パントリーなども有効です。

使いやすい住宅設備機器を選ぶ事は必要ですが、住宅の基本である間取りを工夫する事で、省略化は可能です。炊事や洗濯など人が動く経路「家事動線」を考慮して、間取りを作りましょう。それは動線が短くなれば、不必要に動き回らなくて済み、家事の効率が良くなるからです。例えば、台所の隣に洗濯室を設け、炊事をしながら洗濯もしやすいよう動線を短くしたり、洗濯室と洗面室の間で、洗濯物のやりとりがスムーズにできる工夫をしたりなどが考えられます。ただし、各家庭で家族の事情も異なり、家事のスタイルも異なります。まずは、家族の生活スタイルに合った家事動線をよく考えてみましょう。